

資料6

地産エネルギー事業 報告資料

第12回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部 大会議室

平成26年9月29日(月)

1. ペレットボイラー普及促進事業

(1) 市有施設へのペレットボイラー導入 (8月～)

1 老人福祉センター

- ペレット焚き温水ボイラー (給湯用(お風呂) 407kW×1基)
- ペレット使用見込み量 44t/年

2 中央図書館明徳館

- ペレット焚き冷温水発生器 (冷暖房用 105kW×3基)
- ペレット使用見込み量 74t/年

3 秋田公立美術大学 (予定)

- ペレット焚き温水ボイラー (暖房584kW、冷房475kW)
- ペレット使用見込み量 100t/年

(2) 秋田市木質ペレットボイラー等導入補助制度 (今年度より開始)

1 補助対象等

- 市内の事業所において、木質ペレットを燃料とする機器を設置しようとしている事業者 (ペレットストーブは対象外)
- 補助金の額は500万円まで(補助対象経費の1/2。国や県の補助制度と併用可)

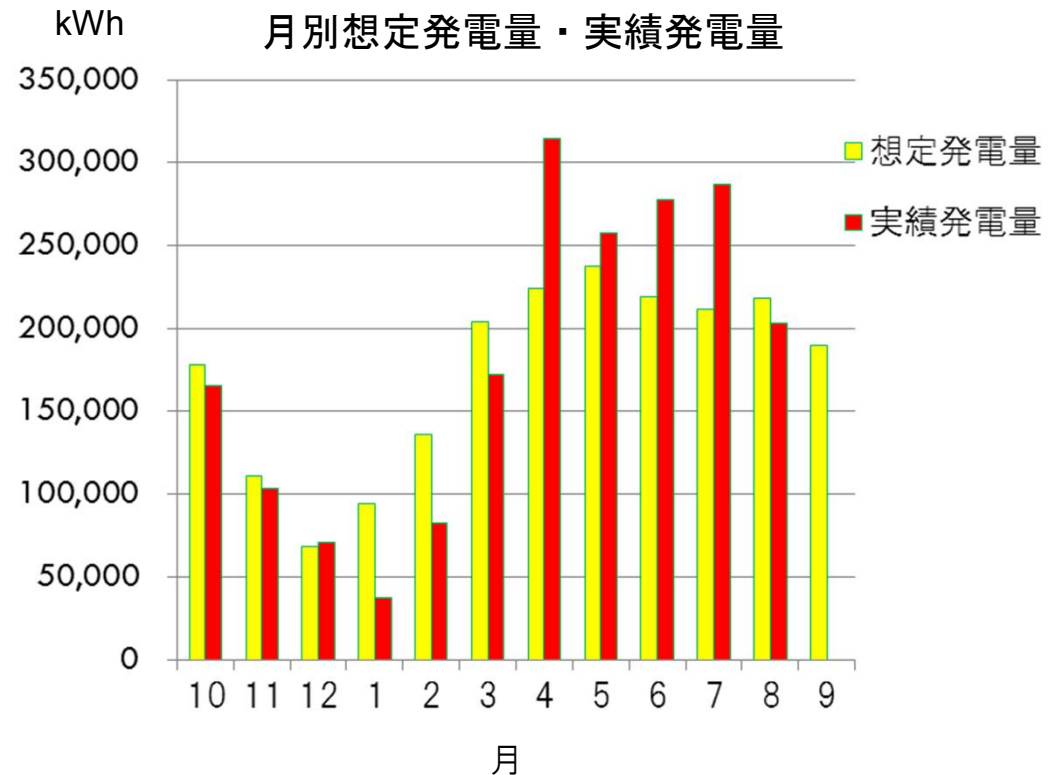
2 応募状況

- 市内の福祉施設より9月に応募があり。現在審査中。
木質ペレットボイラー(床暖房専用ボイラー) 出力25万kcal×1基 ペレット使用見込み 58t/年

2. 秋田市メガソーラー事業の実績



秋田市メガソーラー発電所の全景



- 実績** 平成25年度(平成25年10月1日から平成26年3月31日までの6か月間)
 発電電力量: 632,822kWh、**想定**の**80%**
 一般家庭の年当たりの消費電力換算で181世帯分、削減したCO2量で320トン
- 累積** (平成25年10月1日から平成26年8月31日までの11か月間)
 発電電力量: 1,973,716kWh、**想定**の**104%**
 一般家庭の消費電力換算で564世帯、削減したCO2量で997トン
 売電金額: 76,456,560円(平成25年10月1日から平成26年8月24日まで)

3. 地産エネルギー事業 今後の展開

秋田市において展開が期待される地産エネルギーは、太陽光、小水力、バイオマスである。

このうち今後ともさらなる展開が期待される分野は木質バイオマス。

- － 太陽光はメガソーラー事業において、規模、効果共に一定の成果を得た。
- － 小水力は昨年度調査により、市有施設での発電事業は採算性が厳しく、民間所有の水路等の活用を引き続き検討。
- － 木質ペレットの普及では一定の成果を得たが、木質バイオマスには多数の論点があり、さらなる普及が期待される分野。

木質バイオマスのバリューチェーンおよび各フェーズにおける論点

